

会員制教育サポート・サービス Premier Edu サポートセンター 補習校と現地校の両立 / 夏休みの過ごし方

補習校や全日制の学校では新学期が始まり、現地校ではもうすぐ夏休みを迎える時期です。日本であればどの学校でも4月に新学期を迎えますが、米国は州や学校によって新学期が始まる時期が異なります。現地校に通いながら補習校にも通っているお子様は、補習校での新環境に適応しながら、現地校の学習にも力をいれなければなりません。また、保護者の方もお子様の成績や夏休みの過ごし方等、いつも以上にどのようにお子様をサポートしたらよいかお考えの時期ではないかと思います。

また、4月に渡米されたご家族の場合、初めて米国の学校に通うことになるので、お子様だけでなく保護者の方も不安ことがあるでしょう。Premier Edu サポートセンターでは、米国で皆様が抱えている教育に関するお問合せにお答え致します。

＜補習校＞

補習校は、日本と同じカリキュラムで構成されています。しかし、週末や平日の午後など限られた時間で授業が行われる為、現地校に通いながら補習校の学習と両立させるというのは大変なことです。小学校の中学年になると、学習内容も難しくなり、お子様にかかる精神的負担もかなり大きくなります。「現地校に通っているお友達が遊んでいる時間に自分は補習校があるので一緒に遊べない」、「現地校と補習校、両方の宿題があるので、家にいる間もお友達より学習時間が長くなってしまふ」という理由から、補習校をやめたいというお子様が増えます。同様に保護者の方も、お子様の宿題や精神的サポートをするのが大変になり、補習校をやめたいという意見に同意してしまうケースも多くあります。バイリンガルを育てるには、お子様だけでなく保護者の方も強い意志を持っていなければなりません。

短期間でも米国に住んでいれば、お子様をバイリンガルにしたいと思う方は多いでしょう。実際にお子様を補習校に通わせている方は実感してるはずですが、送迎だけしていれば補習校が全て日本語の教育をしてくれるわけではありません。運動会やお正月など日本の文化に触れ合う行事には親子で参加したり、当番制で補習校の運営をサポートしたり、補習校以外でも日本語を使う機会を作ってあげたり、保護者の方もお子様と一緒に日本語教育に取り組む必要があります。日本に住んでいるお子様であれば当たり前になるようなことでも、補習校に通うお子様が同じように日本語や日本文化を学習することは、ほぼ不可能です。そんなお子様を日本で教育を受けた保護者の方がサポートする場合、ご不明な点が多々あるかと

思います。Premier Edu サポートセンターでは、現地の事情に精通したスタッフがご相談に乗りますので、是非ご利用ください。

＜現地校＞

多くの現地校では、もうすぐ夏休みを迎える時期です。学年末の成績評価に伴い、テストや宿題に追われているお子様も多いかと思います。また、進学や帰国に備え、書類の準備や特別なテストやクラスを受ける必要がある場合は、さらにお忙しい日々をお過ごしでしょう。米国大学への進学をご希望であれば、日本のような入試はありませんが、各大学が要求している成績やテストのスコア以上でなければ申請もできませんので、早い段階から目標をたてておく必要があります。高校生であれば、大学の単位がもらえるクラスを履修できることもあるので、夏休みなどを利用してさらに効率よく計画をたてましょう。

また、4月に渡米したばかりのご家庭では、初めてお子様を米国の学校に通わせ始めた、もしくは入学・編入の準備をしているという段階で、日米教育システムの違いに苦労されている頃ではありませんか。入学・編入の必要書類や手続き、準備するものなどは、日本とは異なる点もありますので不安なことも多いかと思います。最初はお子様だけでなく、保護者の方も英語や米国の教育について戸惑うのは当然です。小さいお子様であれば、

